

平成25年度第1四半期における公益法人等への会費支出の状況

	交付先法人名称 (下線は公表対象)	名目・趣旨	交付額 (単位:円)	支出先法人が定める 会費一口当たりの金 額、もしくは最低限の 金額 (単位:円)	交付日 (支出決定日)	支出の理由等
1	一般財団法人 安全保障貿易情報センター	賛助会費 (法人会費、年会費)	350,000	350,000	6/10	賛助会員に加入することにより、輸出管理に関するコンサルティングサービスの利用が無料で可能になるほか、左記法人の出版物の購入、研修会の受講等について割引料金の適用を受けることができる。 【社内用補足】総合リスクマネジメントの「安全保障貿易管理上のリスク」にも挙げられている、輸出管理手続きを適正に実施するため、タイムリーな相談や各種サービスの提供を受けるために加入している。賛助会員でない場合、相談に要した時間等によって料金が定められている。独法ではJAMSTEC、原研などもJAXAと同様賛助会員。
2	一般財団法人 航空交通管制協会	法人賛助会費 (法人会費、年会費)	100,000	100,000	6/5	1.航空交通管制システムに関する技術動向の把握が容易である。 →航空交通管制協会は、IFATCA、CANSO(FAAも正式メンバーとして加入している)などの国際的な管制組織の会員となっているため、最新の世界動向を入手しやすい。 2.以下の研究会などの開催案内が得られる。 ①航空管制に関する技術交流会、研究会 ②管制懇親会 ③航空交通管制業務に係る施設など各種見学会 3.航空交通管制協会を国内外の管制組織との調整窓口として活用できる。
3	一般財団法人 日本ITU協会	法人賛助会費 (法人会費、年会費)	100,000	100,000	5/22	国際電気通信連合の各種活動の情報が、研究会、講演会他の催し、定期刊行物により得られる。
4	一般社団法人 HPCIコンソーシアム (2口)	正会員費(構成機関代表) (法人会費、年会費)	200,000	200,000	6/5	HPCIコンソーシアムで実施される我が国の計算科学に関する議論、HPCIシステムの利用課題選定や計算機資源の有効活用等の基本方針の策定、将来のスパコン開発等に関して、情報収集するとともに、発言権を有する必要がある。 (口数の根拠)定款により正会員がユーザ代表及びシステム構成機関代表とに分けられており、JAXAの業務上それぞれの観点での議決権が必要である。 ※HPCI:ハイパフォーマンスコンピューティングインフラ。スパコン等のこと。
5	一般社団法人 電子情報通信学会	特殊員会費 (法人会費、年会費)	140,000	140,000	6/5	学会誌及び関連分野の和洋論文誌(オンライン版)購読のため。 【社内用補足】特殊員会費は個人以外で入会する場合。 140,000円の内訳は、 ・会誌(冊子体)購読料:20,000円→図書館目録に載っており全社的に閲覧可能 ・4ソサイエティ(基礎・境界/通信/エレクトロニクス/情報・システム)の和洋論文誌(オンライン版)の購読料:120,000円→IP制限あり調布地区のみで閲覧可能

6	公益社団法人 日本監査役協会 (監事2名分)	年会費 (法人会費、年会費)	160,000	100,000	5/29	他機関、企業の監事や監査役との情報交換等のため入会している。 (支出額の根拠)会費規則により、「法人会員で2名以上登録する場合には2人目から1人あたり6万円を増額する」とされており、当機構は監事2名を登録しているため、左記の金額となっている。
合計			1,050,000			